

学校評価アンケート結果まとめ<令和4年度・第1回実施分>

◎生徒への質問

	質問内容
1	自分は、授業の見直しをもち、主体的に取り組んでいる。
2	授業の終わりに「振り返り」をして、自分の学びを確認している。
3-1	(2・3年生への質問です) 数学の授業を少人数で行うことで、より理解しやすくなっている。
3-2	(全学年への質問です) 授業などでタブレットやパソコンなどを活用している。
4	自分は、毎日授業以外に学習している。(家庭学習など)
5	学校は、花があり、掲示物がきれいに整理されている。
6	自分は、来校者に対して自分からあいさつしている。
7	自分は、奉仕・福祉活動(花植え作業、除草作業、ボランティア、高齢者や障害をもつ人々との交流など)に取り組んでいる。
8	道徳の授業では、自分のことを見つめ直している。
9	自分は、行事に対して積極的に取り組んでいる。
10	いじめのない学校づくりに努めている。
11	自分は、学校生活の約束事を守っている。
12	自分は、給食等を通して食事の大切さを学んでいる。
13	自分は、学級の中で誰とでも話すことができる。
14	自分は、部活動に一生懸命取り組んでいる。(取り組んだ。)
15	自分は、自分の進路について考えている。
16	学校は、アルカス運動(学校の奉仕活動)や奉仕活動が行われ、地域に貢献している。
17	防災に関する学習を通して、災害時の対応を考えている。
18-1	ふだん家庭でパソコンやスマホ等(タブレットを除く)でインターネット、SNS等を利用できる機器を持っていますか。
18-2	パソコンやスマホ、タブレット等でインターネット、SNS等をする時間は、1日にどれくらいですか。

◎保護者への質問

	質問内容
1	生徒は、授業の見直しをもち、主体的に取り組んでいる。
2	生徒は、授業の「振り返り」を通して、学びの実感をもつことができている。
3-1	(2・3年生保護者への質問) 2・3年生の数学での少人数による指導を通して、質問がしやすくなっている。
3-2	(全学年保護者への質問) 生徒は、授業などでタブレット(1人1台端末)等のICT機器を活用している。
4	生徒は、自ら学習に取り組んでいる。
5	生徒は、学びのための環境整備(整頓された教室や掲示物等)を自ら行っている。
6	生徒は、挨拶や礼儀をきちんとしている。
7	生徒は、福祉教育活動(花植え作業や除草作業、奉仕活動等)に進んで取り組んでいる。
8	生徒は、道徳の授業や学校生活を通して道徳性が育っている。
9	生徒は、行事において達成感や自己有用感を高めることができている。
10	学校は、不登校やいじめが発生したときは速やかに対応し、いじめの未然防止の取組を行っている。
11	学校は、当たり前のことが当たり前できるように、生徒指導を行っている。
12	学校は、給食活動を基本とした食育を推進し、食の大切さを理解させている。
13	学校は、話し合いや係活動の活性化を図り、望ましい人間関係の育成に努めている。
14	学校は、部活動において保護者と連携を図り、よりきめ細やかな運営を行っている。
15	学校は、計画的に進路指導を行っている。
16	学校は、アルカス運動や奉仕活動が実施できるように支援している。
17	学校は、防災教育を推進し、防災意識の向上を図り、災害時の対応を考えている。
18	学校は、ネットトラブル防止教室や学級指導等を通して、タブレットやスマホなどの使い方やネット等の依存に対して指導を行っている。

※回答は「そう思う」「おおよそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択式。

本集計では便宜上、「そう思う」→「肯定的」

「おおよそう思う」→「やや肯定的」

「あまりそう思わない」→「やや要改善」

「そう思わない」→「要改善」

と表記する。

生徒回答合計（169）名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	32.5%	53.3%	13.6%	0.6%
Q2	27.8%	43.2%	25.4%	3.6%
Q3-1	37.8%	42.5%	11.8%	7.9%
Q3-2	45.6%	42.6%	9.5%	2.4%
Q4	46.2%	27.2%	17.8%	8.9%
Q5	53.3%	39.6%	4.1%	3.0%
Q6	44.4%	39.6%	13.6%	2.4%
Q7	27.2%	42.0%	26.0%	4.7%
Q8	37.9%	40.8%	15.4%	5.9%
Q9	46.7%	37.3%	11.2%	4.7%
Q10	42.0%	45.6%	8.9%	3.6%
Q11	40.8%	48.5%	6.5%	4.1%
Q12	44.4%	43.8%	9.5%	2.4%
Q13	25.4%	40.2%	21.3%	13.0%
Q14	62.1%	23.1%	7.7%	7.1%
Q15	37.3%	38.5%	17.8%	6.5%
Q16	18.9%	36.7%	32.0%	12.4%
Q17	33.7%	44.4%	16.6%	5.3%

Q3-1は2・3年生のみ対象。未回答は集計から省略しています。

生徒アンケート結果より

【肯定的傾向の回答の割合が高かった項目（90%以上）】

（肯定的傾向：「そう思う」「おおよそそう思う」）

Q5:「学校には花があり、掲示物が整理されている」

学校の生活環境が整えられていることがわかります。今後もよい学校環境を整え、落ち着いた学べる環境づくりに努めます。

【肯定的傾向の回答が比較的高かった項目（80%以上）】

Q1:「主体的に授業に取り組む」

Q3-1:「少人数授業での理解」

Q3-2:「授業等でのタブレットやパソコン等を活用」

Q6:「礼儀・挨拶」 Q9:「行事への積極的な参加」

Q10:「いじめのない学校づくり」

Q11:「学校生活の約束事」 Q12:「食育の推進」

Q14:「部活動への取り組み」

これらの回答から学校生活を充実したものにするために生徒たちが自ら活動していることがわかります。

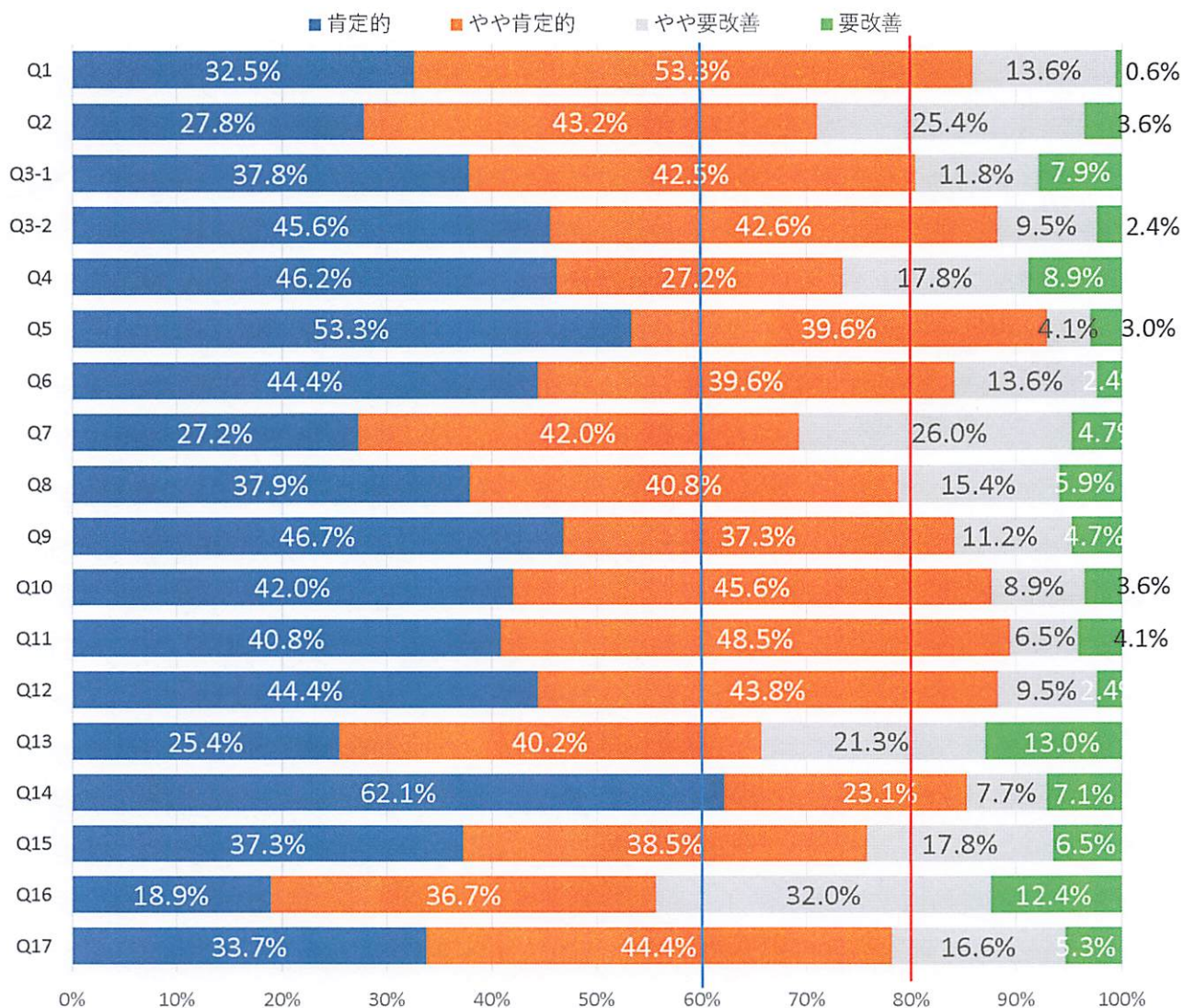
【肯定的傾向の回答の割合が低かった項目（60%以下）】

Q16:「アルカス運動や奉仕活動による地域貢献について」

本年度もコロナ感染症拡大防止のため、アルカス運動や奉仕活動が十分に実施できていない状況が続いていることがここにも大きな影響を及ぼしていると考えます。今後、活動規模や時間を工夫するなどして、コロナ禍でも可能な地域貢献活動についても考えて参ります。

学校評価アンケート結果（対象：全学年生徒）

項目別回答割合



保護者回答合計（96）名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	27.0%	41.6%	27.0%	4.5%
Q2	20.2%	48.3%	29.2%	2.2%
Q3-1	16.9%	47.7%	26.2%	9.2%
Q3-2	55.1%	30.3%	12.4%	2.2%
Q4	31.8%	33.0%	23.9%	11.4%
Q5	20.2%	49.4%	25.8%	4.5%
Q6	27.0%	53.9%	15.7%	3.4%
Q7	31.5%	52.8%	13.5%	2.2%
Q8	24.7%	53.9%	16.9%	4.5%
Q9	38.2%	41.6%	16.9%	3.4%
Q10	14.8%	54.5%	20.5%	10.2%
Q11	28.4%	51.1%	17.0%	3.4%
Q12	37.1%	43.8%	15.7%	3.4%
Q13	32.6%	39.3%	23.6%	4.5%
Q14	27.6%	42.5%	24.1%	5.7%
Q15	18.4%	46.0%	27.6%	8.0%
Q16	21.3%	46.1%	29.2%	3.4%
Q17	25.8%	52.8%	18.0%	3.4%
Q18	28.1%	44.9%	19.1%	7.9%

Q3-1は2・3年生の保護者のみ対象。

未回答は集計から省略しています。

保護者アンケート結果より

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、保護者の皆様にご来校いただく機会をなかなか設けることができない中でのアンケート実施となりました。学年・学級PTAや三者面談の機会、学校からのお便り、電話でのやり取り、お子さんの様子等から評価していただくこととなり、評価が難しくなったと思います。アンケートの結果を振り返り、今後の指導に生かして参ります。

アンケートは、ICTを活用し、eメッセージからアクセスしていただく形で実施しました。回答率は実家庭数の46%でした。

【肯定的傾向の回答の割合が高かった項目（80%以上）】

（肯定的傾向：「そう思う」「おおよそそう思う」）

Q3-2：「ICT機器を活用」 Q6：「礼儀・挨拶」
Q7：「福祉教育活動」 Q12：「食育の推進」

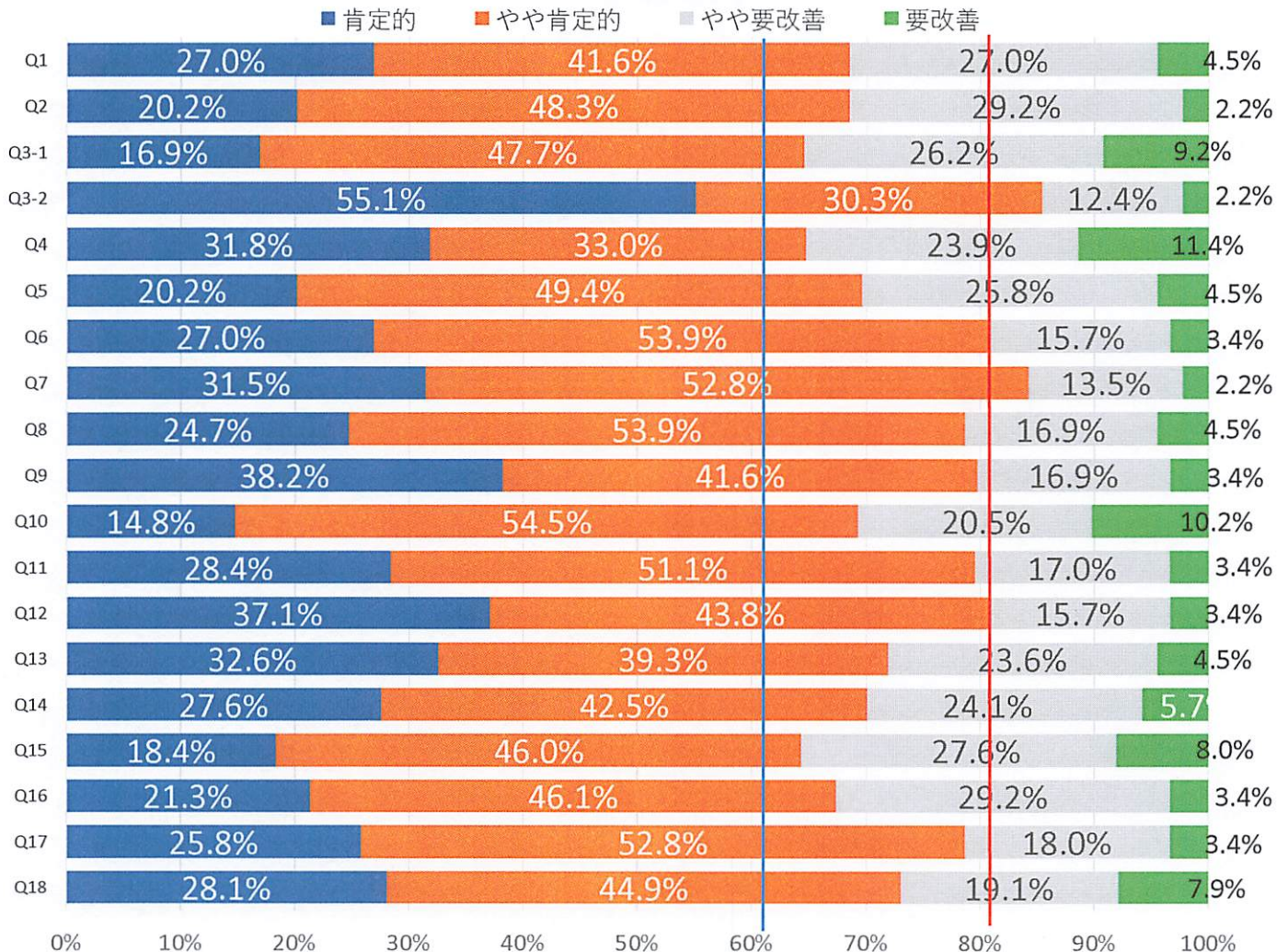
以上の4項目について全体的に高い評価をいただきました。まさに校訓「自主・親愛・健康・奉仕」の内容が教育活動に反映されているという評価をいただいたものと思っております。

【肯定的傾向の回答の割合が低かった項目（60%以下）】

肯定的傾向の回答の割合が60%を下回る項目は項目はありませんでした。今後もより一層の教育活動の充実を図ってまいります。また、アンケート回収率が46%と決して高いものではありませんでした。保護者の皆様へのご協力のお願いとともに、アンケートの実施方法についても検討を加えて参ります。

学校評価アンケート結果（対象：全学年保護者）

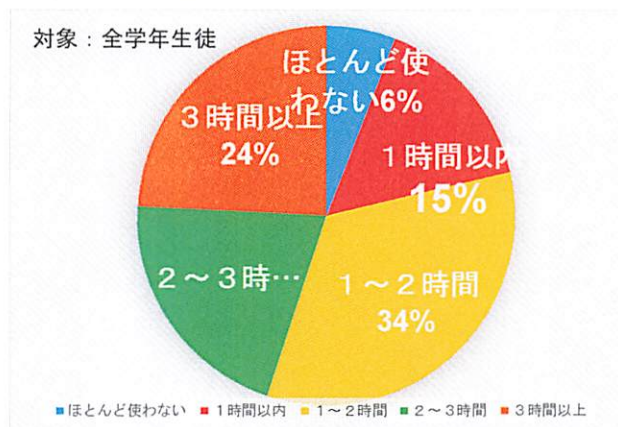
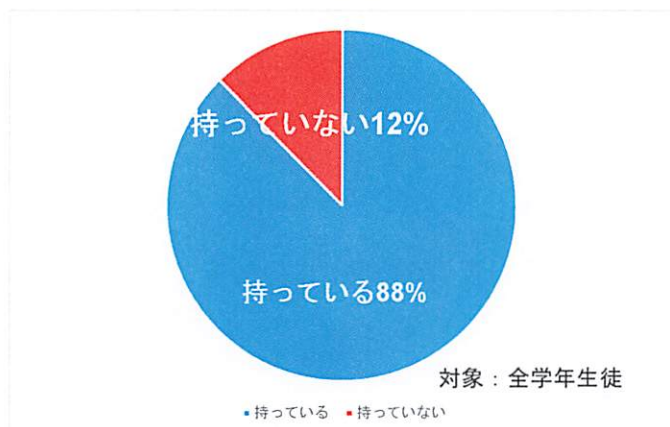
項目別回答割合



インターネット・SNS等の利用に関するアンケート結果

Q18-1. ふだん家庭でパソコンやスマホ等(i タブを除く) でインターネット, SNS等を利用できる機器を持っていますか。

Q18-2. パソコンやスマホ等, i タブ等でインターネット, SNS等をする時間は, 1日にどれくらいですか。



約9割の生徒が, i タブ以外に, パソコンやスマホ等のICT機器を持っていることが分かりました。その上で, 家庭において, i タブの利用も含めたインターネット・SNS等を利用している生徒は94%となりました。さらに1日1時間を超えてインターネット・SNS等を利用する生徒の割合は79%でした。インターネット・SNS等の利用は日常的な行為として定着している中では, その利用の仕方が重要になります。これらの情報機器を自分でコントロールして賢く, 適切に利用して, 上手な付き合い方を身に付ける必要があります。今改めて, パソコンやスマホ等を購入したときの, ご家庭での利用の約束・ルールについて確認していただければと思います。学校としても継続してICTの使い方について指導をして参ります。

学校教育目標を達成するための指標と比較して (令和4年度・第1回実施分)

【生徒への質問より】

教育目標を達成するための指標 (各質問項目肯定的な回答80%以上) を掲げ, 教育活動に取り組んで参りました。その指標とアンケート結果を基に考察いたしました。

肯定的な回答が80%を越えた質問項目は, ①「主体的な姿勢での授業の参加」②「少人数での授業」③「ICTの活用」④「整理された学習環境」⑤「礼儀・挨拶」⑥「積極的な行事への参加」⑦「いじめのない学校づくり」⑧「規則の遵守」⑨「食育」⑩「積極的な部活動参加」の10項目でした。これらの回答から整頓された学習環境においてICTを活用し, 主体的に授業に参加することができていることがわかります。また, 安心できる学校生活の中で, 自ら授業や行事に取り組む, 充実感を味わい, 「自己有用感」が高められてると考えます。これらの生徒たちの取り組みがさらに充実したものとなるよう支援して参ります。一方, 「授業の振り返り」や「家庭学習の充実」については, まだ不十分であると生徒たちは感じています。学校としては, 授業での振り返りの場面の設定や, 家庭学習の取組へのアドバイス等を一層充実させていきたいと考えています。

【保護者への質問より】

保護者の皆様から肯定的な回答 (80%以上のもの) が得られたものは, ①「ICTの活用」②「礼儀・挨拶」③「福祉活動」④「食育」の4項目でした。これらの項目に関しては, 本校校訓とも関連が深く, 保護者の皆様が実際に生徒たちのICTを活用している姿や, 実際に活動したことをホームページや各種おたより等で確認できることでもあります。コロナ禍でもあることから, 各種お便りや学校ホームページ等を活用した情報の発信をこれまで以上に積極的に行って参ります。

肯定的な回答が60%を下回るものはありませんでしたが, やや低かったものとして, ①「少人数指導」②「自ら進んで学習する姿勢」③「計画的な進路指導」が挙げられます。①と③については生徒からの評価は高いことから, その内容についての情報発信に努めます。②については, 生徒・保護者ともに低い傾向にあります。家庭学習の充実のためには学校と家庭との連携が不可欠です。これからも, 三者面談等の内容の一層の充実を図るとともに, 生徒の学びの過程をお知らせできるように工夫をしていきたいと考えています。

今後も本校の教育活動に, ご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。